



## 『 インフルエンザワクチンの接種について 』

インフルエンザの予防接種を実施するにあたって、その安全性を確保するためには、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。以下の内容をご確認いただいた上で、予診票にできるだけ詳しくご記入をお願い致します。

### 【 ワクチンの効果 】

今回の予防接種は、インフルエンザ感染予防や感染を軽くする、または、インフルエンザによる合併症や死亡を予防する目的のために実施するものです。

### 【 副作用 】

副作用として、以下のような症状がありますので、必ずご確認ください。

1. 注射をした部分が赤くなる、腫れる、痛くなるなどの局所症状、発熱、頭痛、寒気、倦怠感などの全身症状もまれに起こることがありますが、通常は2～3日でなくなります。
2. 接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害などの症状が現れることもあります。
3. 非常にまれではありますが、ショック症状や呼吸困難、じんましん（アナフィラキシー）などが現れることもあります。

### （注）アナフィラキシーとは

通常、接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。発汗、顔が急にはれる、全身にひどいじんましんが出る、吐き気、嘔吐（おうと）、声が出にくい、息が苦しいなどの症状に続いて、血圧が下がっていく激しい全身反応です。

### 【 接種を受けることができない方 】

1. 接種日現在、発熱している方（通常は、37.5℃を超える場合を言います。）
2. 急性の病気で薬を飲む必要のあるような方（その後の病気の変化が分からなくなる可能性もあるので、その日は見合わせるのが原則です。）
3. 以前にこの予防接種を受けて、アナフィラキシー症状を起こしたことのある方
4. 妊娠の可能性のある方、妊娠中の方
5. 今回のワクチンの成分又は鶏卵、鶏肉、その他の鶏由来のものに対して、アレルギーがあるとされたことのある方
6. 上記の他、予防接種を行うことが不適当（医師が判断した場合）な状態の方

### 【 接種に注意が必要な方 】

健康状態や体質を考慮し、次のいずれかに該当する方は注意が必要です。

1. 心臓血管系疾患、肝臓疾患、血液疾患、その他慢性の病気で治療を受けている方
2. 前回の予防接種において、2日以内に発熱があった方、または全身性発疹（ほっしん）などのアレルギー症状を発症したことのある方
3. 過去にけいれんを起こしたことのある方
4. 過去に免疫不全と診断されている方

### 【 ワクチン接種後の注意 】

1. 予防接種を受けた後30分間は、急な副作用が起きることがあります。この場合は、すぐに医師（医療機関）へ連絡を取って下さい。
2. 接種当日はいつもの通りの生活（入浴は差し支えありませんが、注射した部位は強くこすらない）をしても構いませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
3. 予防接種を受けた後、接種した部位が痛みや熱をもってひどくはれたり、全身のじんましん、繰り返す嘔吐、顔色の悪さ、低血圧、高熱、などの症状が現れましたら、医師（医療機関）の診療を受けて下さい。

### 【 当日受診者さまへのお願い 】

1. 当日、検温をされた上での受診をお願い致します。
2. 会場への来所は各自マスクを持参着用することを原則とします。
3. 手指消毒の徹底
4. 会場では換気を定期的に行うため、外気温との寒暖差が生じる恐れがありますので、着衣の調整をお願いいたします。

このワクチンには、製造の過程で鶏卵を使っておりますので、鶏卵、鶏肉、その他の鶏由来のものに対して、アレルギーのある方は強い副作用を起こす事があります。アレルギーがあるとされた事のある方は、必ず医師に申し出てください。